

ぎかいだよりむらやま



写真/
若手でがんばるVOL.8
榎岡鶴ヶ町 KONAスタ 佐藤駿平さん

<http://www.city.murayama.lg.jp> 携帯からはコチラ→



2016
vol.89

2016年4月15日
発行

県内初!

3月
定例会

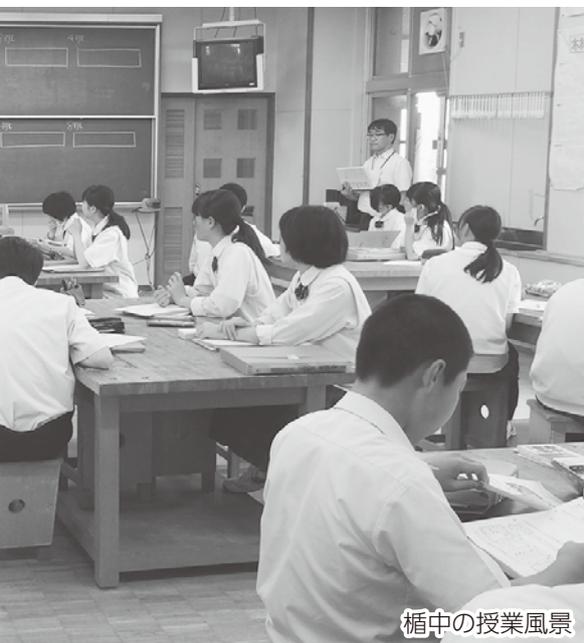
スタート!!

4000万円 (対前年比5%UP)

駅西開発など、目に見える
事業いよいよスタート

事業ピックアップ

- 経済的理由による進学・就学を断念することなく勉学に取り組めるよう、また、次世代の村山市を支える人材を育成するための奨学金制度を設立する事業。
- 駅西開発に伴う道路・環境整備事業。
- 袖崎・大高根児童センターの民間保育施設整備事業。戸沢保育園の指定管理委託事業など、保育への民間活力導入。
- 小中学児童の居場所づくりの支援体制構築。
- 消雪・ハイブの維持管理、流雪溝整備、除雪作業事業。



楯中の授業風景

平成27年度補正予算

3月議会で成立した補正予算の主なもの

歳入

- ふるさと納税の寄附は、大幅な伸びがあり2億6300万円となった。

歳出

- 楯岡市街地に循環バスを運行し商店街へのアクセスを改善。
- バラによる誘客推進や総合案内拠点施設設備など。
- すべての観光分野において活用できる村山市のPR動画を制作。
- 起業・創業支援の強化など。
- 市道鶴ヶ町西線の道路改良工事や、東根温泉線の延伸。
- 軽トラックを活用した特色ある産直の実施。
- まるごとにつぼんなど、村山の観光情報発信事業。



浅草のまるごとにつぼん

平成28年度当初予算

返還必要のない

給付型奨学金

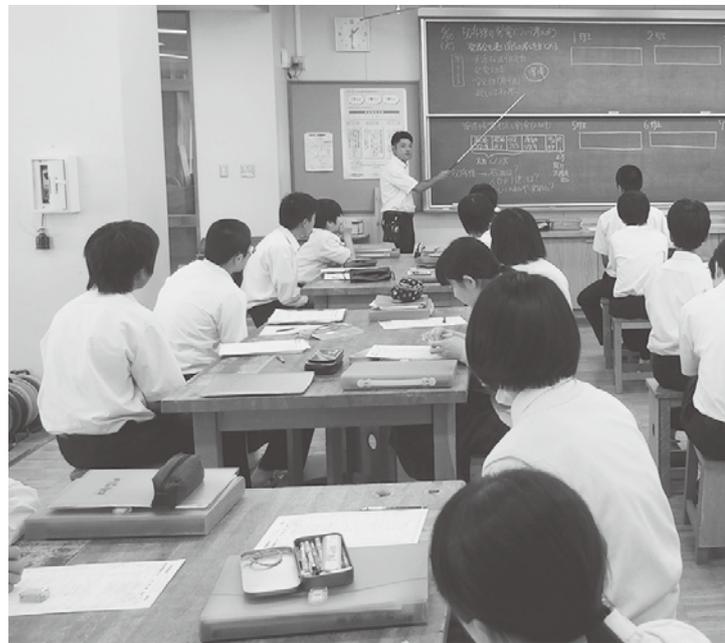
一般会計予算123億

ぎょうんピックアップ

● 楯岡高校跡地を中心とした街づくりをもっと積極的に考えるべきだ、と最終日に宣言を議決した。今後、市民・市議会・関係機関と連携して跡地活用、市中心部活性化に向けてまい進する必要がある。

● 保育や給食の民営化には反対だ、という意見がある一方、保育士の処遇改善や、質の高い保育の実現のために賛成という意見もあった。

● ふるさと納税について、返礼品の開発やPRなどもっと力を入れてやるべきだという意見が出た。今後税収アップにつながるように係の新設などが市当局から示された。



目玉 of 2016



道路など町並みが変わります

駅西開発や鶴ヶ町西線など新たな道路などが作られます。



除雪関連事業

消雪パイプの維持管理と流雪溝の整備など、地域の実情に合った様々な取り組みを実施します。



保育施設の民間活力導入へ

戸沢保育園は4月から指定管理されました。

直撃!!

海老名 幸司 予算特別委員長に聞く!

予算特別委員長
海老名 幸司 議員

議会だより編集委員会ではこの度、予算特別委員長の海老名幸司議員に、予算委員会について目玉やポイントを、分かりやすく説明していただきました。



予算特別委員会とは?

—まず予算特別委員会とは何でしょうか?

テレビで国会の予算委員会を見たことがあるでしょうか。あれと同じ事で村山市の当初予算について、具体的に議員が審議する機関です。

当初予算がたくさんあるので、総務文教と産業

厚生 の2つの分科会があり、専門分野で細部にわたって審議します。

—今2つの分科会という話が出ましたが、以前は3つの分科会が設置されていた。どのよう

政課・税務課・市民環境

まず総務文教委員会は、

総務課・政策推進課・財

政課・税務課・市民環境

課・教育委員会・水道課・会計課などです。産業厚生委員会は、建設課・農林課・農業委員会・保健課・福祉課・子育て支援課・商工観光課などです。今までの3つの分科会から2つになったことで、議員の人数も増えて議論の中心が混くなったようです。

—議長は予算特別委員会には入らないのですか?

はい。基本的に議長は予算特別委員会には入りません。予算委員会でもめた場合などに最終調整するのが議長なので、責任者を別に立てています。

特に議論されたことは?

—今年の委員会で特に議論されたことは何ですか?

国から示されている地方創生に関わること、そして駅西開発と子育て支援でしょうか。特に若者の定住対策などについては、各課でも共通認識を持つている程、重要な課題だと思えます。それだ

けではありませんが、市民にとって事業が分散している分、部局横断で実施してもらいたいですね。

—今年は駅西開発や道路新設など目に見える事業も多いそうですね。

そうですね。駅西には

ビジネスホテルも建設さ

れますし、商業施設も12

月にはオープンするよう

です。道路の新設事業も

あるので、注視してい

たいですね。ただ一方で

楯岡高校の閉校に伴う空

洞化も懸念されています。

それについてはまだ良い

解決策は明示されていま

せん。議会とも一丸と

なってより良い跡地利用

の方策を探っていかな

ければなりません。また公

共施設の維持管理も見直

しが必要です。施設利活

用の新しいアイデアが

なければ補修や増改築な

どは行うべきではありません。

総括として

—結びに海老名委員長に総括してのご意見をお

願います。



減少する歳入と増加す

る歳出という、厳しい財

政状況の中で、的を絞っ

て予算編成したと評価し

ているものです。地方創

生と人口減少対策がキー

ワードとなっていますが、

市長就任3年目にして、

何もないところからス

タートしてようやく目

に見える形でハード分野

にける事業がスタートし

ていきます。市民の皆

様には楽しみにしてもら

いたいですね。また、来

年度から、公会計制度が

導入されます。職員は民

企業にならない、コスト

感を見につけて、業務

の遂行にあたってもら

いたいと思います。

—今日はありがとうございました。



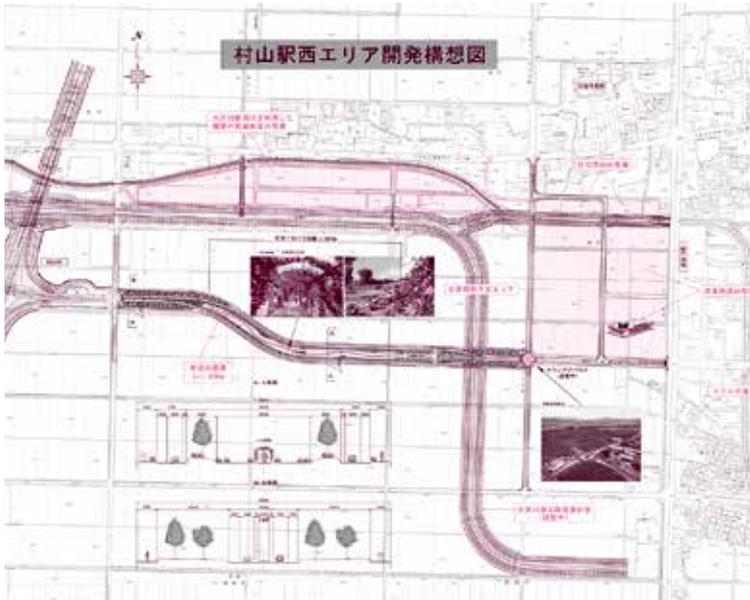
夢のあるまちづくりを見据えた村山の道路整備を核とした開発計画は

菊池 貞好 議員

Q 夢のあるまちづくりを見据えた将来の村山の道路整備を核とした開発計画事業をお聞きしたい。

A 袖崎の湯舟沢から五十沢までの林道整備事業が28年度より測量が始まり五十沢地区の皆様が60年来の夢である道路開通を目指す。将来は散策道として活用し健康づくりに寄与したい。

鶴ヶ町西線は村山産業高校の生徒の通学の際の安全確保という意味あい、で全長2.1km、学校まで1.2kmの事業だが早期完成を目指す。併せて沿線の宅地造成も進めていかなければならない。県道楯岡東根温泉線の北進延線事業は昭和35年の都市計画であり56年の歳月が過ぎている。地元の人にとって狭隘な道路が緊急車両の交通妨害を起こし、生命の危機が発



村山駅西エリア開発構想図

生し重大な問題になる前に、この道路事業により本郷地区民の緊急時の命の保証が安全安心なものに変われることを期待する。昨今新聞などにも掲載されている駅西エリア開発構想図について総工費23億円。7年後の完成を

目指し、若者の定住促進、人口流出抑制を掲げてこの事業計画を進めている。バラ回廊も一年を通しバラを中心に四季折々の花を楽しめる回廊として、皆様に喜ばれる施設を検討する。



格差拡大の中市民のくらしが改善されていないが対策は

結城 正 議員

Q 市民のくらしは、格差が拡大する中貧困世帯が増加し、悪化してきている状況にあるが、①市民のくらしの現状をどう見ているのか。②改善にむけ、市としてどう対策していくのか。

A ①不安定雇用や低賃金により市民のくらしは、改善していない。②市民の安定した雇用の確保と収入の増加が必要である。市としても努力する。

Q 18才選挙権が始まり、選挙の年である。7月の参議院選挙・来年1月県知事選挙が行われる。①参議院選挙・県知事選挙に市長は、どう対応するのか。②来年の9月の市長選挙にむけた市長の今の考えは

A ①市と国・県をつなぐ役割を重視し、市民の声を吸い上げてくれる人を応援して行く。②



工事中の東北中央自動車道村山インター（仮称）付近

進退表明には、時期が早い。市民の生活向上にむけ、ようやく見えてきたところだ。

Q 大目川河川整備・東北中央自動車道の工事・駅西エリア開発を一体のものとして、整備を図らなければならないが、

計画は、どうなっているか。市民・地元地区・地権者への説明会の計画は、いつ頃になるのか。

A どの工事も早く完成させるべく努力を重ね、市民・地元地区・地権者の意見を聞きながら進めて行く。



全ての要介護者に障害者控除認定を

川田 律子 議員

Q 税金の申告時に要介護1〜2は障害者控除・3〜5は特別障害者控除を受けられるが、対象者の人数と申請・認定の状況について問う。

A 対象者は要介護1〜5まで合わせて1324名。申請は48件で全員認定となっている。

Q 1300人以上の対象者に対し48件は少なすぎるのでは。山形市では申請が無くてもすべての要介護者に控除の認定書を送付なつたと聞く。市民の声に応えたものである。市長の考えは。

A 申請があり調査で認定ならない場合もあると聞く。国の指針でも身体障害者との基準の違いがある。全員認定は現実との乖離がある。市としてどうするか検討させて頂く。

Q 高すぎる国保税への支援策として厚労省は、保険者支援を実施し被保険者1人当り5千円の引き下げが可能としているが、当市の影響は。

A 2割軽減を新たに設け低所得者対策を行っている。

Q 新年度より後期高齢者医療保険料の引き上げが決定したが、いくらの負担増になるのか。

A 1人当り964円の負担増となる。2割から9割の軽減があり7割の人が該当する。

Q 後期高齢者の収入は年金がほとんど。市長として引き揚げに反対の姿勢を要望する。



本市の大規模な宅地開発について問う。

矢口 正 議員

Q 東新町地区全体を眺めた場合スーパームとより専門医も多く住み良い環境になっている。更なる発展をめざし集会施設などを建設してはどうか。

A 現在は中新町の防災センターを利用して

Q 人口を飛躍的に伸ばすには大規模住宅団地の造成が必要である。そこで東根温泉線の東側約10haを開発してはどうか。

A 現時点では考えてないが将来実施しようと思う。



施設デイサービスのようす



景観も良く住宅地として大最適地



子育てしやすい村山市の実現に向けて

高橋 菜穂子 議員

Q 子育て世帯の市外への転出を防ぐために、子育て支援施策の周知徹底と子どもの遊び場の整備、伝承館のそり乗り場の活用などを提案する。

A 子育て支援策はポスターの掲示など積極的に行う。遊び場は、東根や天童と同じような施設を作るのではなく、独自性のある遊び場の整備を考えていく。

Q おむつ交換台の設置に加え市内観光スポットや市関連施設への授乳室の整備を提案する。

A 市役所をはじめ、授乳室（スペース）の整備を進めていく。

Q TPP発効後に村山市の農業が生き残り、美しい景観を守るための準備は。

A 六次産業化推進協議会を立ち上げており、市内の農家や商業者などに参加してもらっている。

Q 農商工の連携も含め自然体の六次化を進める。ふるさと納税のこれまでの分析と今後について、政策と寄付を紐づけて、市民がふるさと納税を呼びかけたくなるような方法を検討していただきたい。

A 寄付額は2億6千万円（二月現在）で、一番人気はさくらんぼ、続いて牛肉や米という村山市の質の高い農産物が人気だ。今年のさくらんぼはすでに三千箱の予約があり、JAとも連携を強めて準備している。

Q 施策方針に「今は既存の企業を大事にして社員を増やしていただく」とあるが、正規雇用を増やす具体策がない。非正規労働者を正規に格上げするなど処遇改善を促す助成金制度の創設を。公が民間に口を出すのはなるべく控えた方がよい。

A ①公共工事の労務単価がこの3年間引き上げられたが、実際に労働者に支払われる賃金は上がったのか。②業務委託の場合、人件費算出基準はどうなっているか。①確認できていない。②基準はない。

Q 公共事業や公共サービスは「安ければいい」「労働者に実際いくら支払われているか知らなくてもいい」ということではいけないのではないか。

A できるところは目を見張らせていく。市実施の地域支援事業に移行される。先行自治体の事例のように、「要支援者の切り捨て」が生じないようにあつてはならないのではないか。そのようなことはないかと信じている。

Q 全国的に内容が煮詰まってから検討する。来年度から要支援者の訪問、通所介護は

A 保険給付からはずされ、市実施の地域支援事業に移行される。先行自治体の事例のように、「要支援者の切り捨て」が生じないようにあつてはならないのではないか。そのようなことはないかと信じている。

Q 全国的に内容が煮詰まってから検討する。来年度から要支援者の訪問、通所介護は

A 保険給付からはずされ、市実施の地域支援事業に移行される。先行自治体の事例のように、「要支援者の切り捨て」が生じないようにあつてはならないのではないか。そのようなことはないかと信じている。

Q 全国的に内容が煮詰まってから検討する。来年度から要支援者の訪問、通所介護は

A 保険給付からはずされ、市実施の地域支援事業に移行される。先行自治体の事例のように、「要支援者の切り捨て」が生じないようにあつてはならないのではないか。そのようなことはないかと信じている。

Q 全国的に内容が煮詰まってから検討する。来年度から要支援者の訪問、通所介護は



飴葉プラザ内の授乳室



正規雇用の増加策と公務・公共サービスに従事する労働者の賃上げを

中里 芳之 議員

Q 施策方針に「今は既存の企業を大事にして社員を増やしていただく」とあるが、正規雇用を増やす具体策がない。非正規労働者を正規に格上げするなど処遇改善を促す助成金制度の創設を。公が民間に口を出すのはなるべく控えた方がよい。

A ①公共工事の労務単価がこの3年間引き上げられたが、実際に労働者に支払われる賃金は上がったのか。②業務委託の場合、人件費算出基準はどうなっているか。①確認できていない。②基準はない。

Q 公共事業や公共サービスは「安ければいい」「労働者に実際いくら支払われているか知らなくてもいい」ということではいけないのではないか。

A できるところは目を見張らせていく。市実施の地域支援事業に移行される。先行自治体の事例のように、「要支援者の切り捨て」が生じないようにあつてはならないのではないか。そのようなことはないかと信じている。

Q 全国的に内容が煮詰まってから検討する。来年度から要支援者の訪問、通所介護は

A 保険給付からはずされ、市実施の地域支援事業に移行される。先行自治体の事例のように、「要支援者の切り捨て」が生じないようにあつてはならないのではないか。そのようなことはないかと信じている。

Q 全国的に内容が煮詰まってから検討する。来年度から要支援者の訪問、通所介護は

A 保険給付からはずされ、市実施の地域支援事業に移行される。先行自治体の事例のように、「要支援者の切り捨て」が生じないようにあつてはならないのではないか。そのようなことはないかと信じている。

Q 全国的に内容が煮詰まってから検討する。来年度から要支援者の訪問、通所介護は



市道大高根演習場線の工事のようす



「ない」袖は振れない ならば「ある」ものを極めよう

菊池 大二郎 議員

Q 本市には日本に一つしかない居合神社をはじめ、信仰文化に富んでおり、大胆かつ国際的な視点で活かすべきでは。
A 政教分離の観点からいっても慎重に判断せざるを得ない。
Q 宗教そのものに正面から向き合うのでは

なく、どこに力点を置くかが重要。例えば、居合神社から抽出できる刀や侍、武士道や大和魂などは海外の方が持つ日本のイメージそのもの。視点を変えれば、本市独自の事業ができるはずだが。大変面白い発想だ。



居合抜刀術の始祖・林崎甚助重信公は侍文化そのもの

Q 楯岡を中心に非常に少雪な冬期間であったがオペレーターの確保や地域間の除雪稼働の格差是正などの必要性が浮き彫りに。準備金を含めた組合への保証の在り方など来季に向けた早急な検討が必要と考えるが。
A オペレーターの確保は最低賃金も含め喫緊の課題。組合とも相談しながら徐々に変えていく。

Q 楯高跡地利活用につき、施政方針でも全く触れられておらず、一体どうするのか。徳内シーボルトラインも完成したが、今後どうするのか。
A 楯高跡地は学校関係の誘致を考えている。徳内シーボルトライン周辺整備として公園造成を考えているが事業優先度は低い。



教育現場にタブレット端末を

長谷川 元 議員

Q 若者の定住対策としても、屋内・屋外の遊戯施設の建設は大事だと考えるが、東沢公園の遊戯施設やスケボーパークなど若い人から意見聴取をしているか。現在の状況について伺う。レストハウス東沢やクアハウス旧浴場の活用方法についての考えは。
A 予算のこともあるのでクアハウス旧浴場については慎重に考えていきたい。レストハウス東沢も通年観光の一助になるような活用方法があれば検討していきたい。遊戯施設は予算を見ながら全体計画を立てて整備していくべきだと思う。

Q 楯岡高校が閉校して東根に中高一貫校の東桜学館が開校する。村山市からも通学する生徒が増えることが予想されるが、負けない教育環境にするためにも、中学校

へのタブレット端末を導入すべきと考えるがどうか。
A 現在のパソコンリース満了時にタブレット導入できるように研究していきたい。主体的な学びやICTに強い教育現場となるよう努力して



小中学校への導入が待たれるタブレット型端末

いきたい。
Q 指定管理の見直しや民間活力の導入について現在一年間の見直し時期になっているが。
A 維持管理が相当負担になってきている。民間活力の導入について積極的に考えている。



新子育て支援制度について問う

海老名 幸司 議員

Q 平成28年度から新しい子育て支援制度がスタートする。その中で児童センターは、国の給付（補助）対象施設から除外され組織改編が迫られているが今後のタイムスケジュールなどについておたずねしたい。

A 児童センターへの国の財政支援は平成27年度から29年度までの3年間となっている。そこで今後については、児童数の推移、地元の意向、市の住宅開発計画などを総合的に勘案して行う必要があると考えている。

Q 本市は公共施設の維持、管理手段として指定管理者制度を導入しているか。

A 栄養士は自園調理の場合努力義務、看護士、保健士は0才児9人以上の施設では必置義務となっている。

Q 本市は公共施設の維持、管理手段として指定管理者制度を導入しているか。

A 現在は原則公募という姿勢で対応したいと考えている。

Q 保育の質の問題として、栄養士、看護士などの配置はどのように



西郷児童センター

審議結果報告

(3月定例会において賛否の分れた議案についてのみ掲載しました)

議案等の名称	議員名	議決結果								賛成	反対								
		市政・公明クラブ																	
		高橋菜穂子	石澤 祐一	長谷川 元	長南 誠	秋葉 新一	茨木 久彌	海老名幸司	川田 律子			中里 芳之							
		日本共産党 村山市議団			改革 クラブ		無党派												
		結城 正	菊池 貞好	菊池大二郎	矢口 正	佐藤 昌昭	大山 正弘	森 一弘											
市長提出 予算	平成28年度予算（9件） 一般会計・国民健康保険事業・公共下水道事業・財産区・農業集落排水事業・土地区画整理事業・介護保険事業・後期高齢者医療事業・水道事業	可	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	議	13	2	
請願 請願1号	TPP協定を国会で批准しないことを求める請願書	否	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	議	5	10

正副議長及び監査委員は会派に属しません。議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません。

可=可決 否=否決 ○=賛成 ×=反対 欠=欠席 退=退席

百問は一見にしかず!!

よりよい行政のための 視察 レポート

他市町との研修

天童市議会・河北町議会

議長、副議長、議会運営委員会、各常任委員会の正副委員長が出席し、1月20日河北町議会・1月28日天童市議会との交流会を開催しました。



●河北町議会との交流会
『まち・ひと・しごと創生総合戦略及び議会運営について』

・平成28年から第7次河北町総合計画を策定しました。「人輝く健康都市かほく〜ウエルネスシティ〜」を謳い、役場を中心に半径5km以内にすべての集落がある利点を

活かし有機的に集積したまちづくりを推進するもの。議会としては、地方創生に関する提言を昨年の9月町長に行いました。これには、7月区長会、商工会、婦人会など関係団体から多様な意見を聞き、決定事項を反映させたものです。

・議員としての意識改革、スキルアップが重要、住民との意見交換会また研修に特化した費用弁償を予算化しました。

・認定こども園、地域包括ケアシステム、議会報告会の課題なども話題になりました。

●天童市議会との交流会
『各市行政にかかる諸課題について』

・天童市のふるさと納税の現状、今年度上半期で全国トップ、地元の農業、地場産業に還元され、地域の活性化につながっています。課題は特産品の一層の充実と寄付金の活

用方法です。

・本市の間口除雪への高い評価、保育料半額の内容、村山産業高校への通学時のバス利用、通学路整備が話されました。

産業厚生常任委員会

管内視察

2月17日、産業厚生常任委員会の管内視察を行いました。初めに戸沢保育園の現状と4月から指定管理になる社会福祉法人敬愛会の開園進捗状況について説明を受けまし



次に大高根児童セン

ターの保育状況、また建物については民間の保育施設として譲渡、有効に活用され、地域にも引き続き開放される旨の説明がありました。

次に大石田に移動して

ふたば児童センター・ふたば横山保育園で社会福祉法人ふたば保育園の吉澤理事長より詳細な説明を受けました。同法人は



2つの保育園と旧横山小学校の施設・敷地を利用して、大規模な改装を行い、大型児童センター、子育て支援拠点施設・学童保育が一体となった子育てをサポートする複合施設になっています。

なお、ふたば保育園は、平成29年4月から大高根と袖崎で村山市の認可保育所として開設する予定です。

富並上中原地区内において、消雪パイプの不具合の状況と今後の対応についての説明を受けました。同地区は、消雪道を豊富な水量を利用した流雪溝との併用により、狭

い冬期間の道路状況も良くなっております。

市政・公明クラブ

要望活動

2月4日東京で県選出国會議員及び各省に要望書を提出、5日は議員のスキルアップのため研修会に参加しました。

総務省、国土交通省、文部科学省に出向き、雪対策について特に待機時の費用、オペレーターの確保等について森谷総務大臣政務官、佐藤総務省審議官に強く要望。国土交通省は東北中央自動車道の建設促進、文科省では楯小改築に係る補助金について担当課長補佐の研修を受けました。



市民の声



齋藤 眞知子 さん (大倉)

2009年に地元企業を退職し農業を始めました。初めは5反歩を借りて野菜を育てました。荒れた畑を抜根・整地をして、1町歩の

畑になりました。今年も農地を貸して下さる方があって、益々本気で農業を頑張っています。毎年のように豆の種類が増えて今年の作付けは30種類を超えます。中でもお薦めは黒豆です。

黒豆をお正月におせち料理で煮ますが、なぜ黒豆なのでしょう。それは無病息災を願ってのことだそうです。黒豆の黒い種皮には薬効があることを先人は知ってい

たのです。私も砂糖を使わないでポン菓子にしてもらって黒豆茶にして飲んでます。

村山市には農業委員が荒れた畑を開墾した「耕作放棄地解消モデル圃場」があるのですが、そこではたくさん子どもたちが収穫体験をしています。もっともっと多くの子どもたちに太陽の下で体を動かして自然に触れる体験をどんどんやって欲しいと願っています。



〈表紙写真〉

自分の夢・目標はKONAスタオリジナルのどんどん焼を新たな村山市のB級グルメとして売り出し、さらなる店の事業拡大を目指すことです。



議会報告会のご案内

1、平成28年4月27日(水) 午後7時より

- 西郷地域市民センター
- 大久保地域市民センター

2、平成28年4月28日(木) 午後7時より

- 楯岡地域市民センター
- 富本地域市民センター



皆様！多数の参加をお待ちしております。

議会だより編集委員会

委員長 大山 正弘
副委員長 川田 律子
委員 長谷川 誠
長南 元
結城 正
石澤 祐一
菊池 大二郎

議会のながれ(予算審議とは)

市議会は市長と対等の立場で、お互いを牽制しながら車の両輪のように市政の発展のために活動しています。予算審議が良い例です。予算を組むのは、あくまで市長ですが、実際に執行するためには市議会での審議と決定が必要となります。とりわけ重要な案件である予算については、特別委員会および各常任委員会所管区分による分科会を設置のうえ集中審議を行い、市議会の議決を経て初めて、執行機関である市は実際の事業が可能となるのです。



みんなの知識